



青き楓

島高だより
令和3年10月号
(通巻第187号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

『故郷』

校長 岩橋 順弘

せいと らんかん
仰げば 星斗 闌干として、悠久の真理を求む
こうべ ひんがし しらぬい
頭を 東に廻らせば、不知火炎々として、若人の熱を語る
頭を西に廻らせば、霊峰普賢を仰ぎ、若人の理想を掲ぐ
自然の恵み豊かなる この島原半島の一角、天地の精気 凝りて
ここに建てるは 我らが島原高等学校なり

体育祭のフィナーレで行われるサークル活動における応援団長の語りの一部である。考えてみると、島原は東には恵み豊かな有明海、西には雲仙普賢岳を有し、湧水や温泉、歴史的町並みもある自然環境豊かな素晴らしい場所だと改めて思う。日常生活の中で当たり前のこととして見過ごしてしまいがちなことが、何かをきっかけに有難いことだと感じることは多い。

近頃、都道府県魅力度ランキングが発表され、いろいろと物議をかもしている。ランキングの根拠や在り方について特に意見するつもりはないが、そこに住む人にとっては地元へ愛着があるし、ランキングが上位であれば悪い気はしないだろう。特に観光立県といわれている都道府県にとっては、無視できないところもあるに違いない。とはいえ、地元の人々がどれだけ生まれ育った地域のことを理解し、その魅力を語ることができるだろうか。「島原の自慢を10個挙げてください。」といわれて、いくつか思い浮かぶ場所や食べ物などがあるかもしれないが、はたしてその歴史や魅力を十分に知っているかといわれると疑問を感じる。

「故郷は遠きにありて想うもの」。故郷は、いろいろな思い出と経験が詰まっている懐かしい場所であるし、帰ることのできる温かい場所でもある。しかし、人口減少による過疎化や高齢化は地方都市にとって深刻な問題となっている。島原市の現在の人口は43,750人だが、2015年に出された島原市の人口ビジョンでは、このままの減少率が続くと2040年には32,000人あまりにまで減少すると予測されている。

現在、行政でも人口減少対策を講じているし、地元で地域の活性化に取り組んでいる人たちもいる。2年生の探究活動でも、島原市の地域創生について研究を行っている。これからは、次の世代を担っていく若者が地元の魅力についての理解を深め、地元の活性化や地域再生について考え、行動していくことが重要だと思う。将来、少しでも多くの若者が地元に戻って、地域の活性化に取り組んでくれるよう願っている。

11月の主な行事予定

1日(月) 開校記念日	15日(月) 考查時間割発表・部活動休止(1・2年)
3日(水)、6日(土) 大学別オープン模試(3年)	県立大研修(2年理数科)
5日(金) 県高校駅伝大会	16日(火) 体育部活動生支援学習会(～18日)
6日(土) 進研実力テスト(1・2年)	17日(水) 島高青楓塾・心に響く人生の達人セミナー
7日(日) 進研実力テスト(2年)	20日(土)、21日(日) 全統マーク模試(3年)
9日(火) 理数科課題研究中間発表	22日(月) 期末考查(1・2年)(～26日)
10日(水) 人権同和教育	27日(土) 土曜講座(3年)
13日(土) 土曜講座(3年)	29日(月) 修学旅行(2年)(～12月2日)

読書感想文コンクール

1・2年生の夏休みの課題として提出された読書感想文から、事前審査によって数編を選び、生徒、職員がそれぞれの作品を評価します。本を通して見えた社会や自らの思いを、高校生らしい豊かな感性で瑞々しく表現しており、有意義な校内コンクールとなりました。今年度は上位2名が全国読書感想文コンクールへ進出します。

最優秀賞

1-4 林田 紫穂 「一人じゃない」(辻村深月『かがみの孤城』)

優秀賞

2-6 入江 奎奈 「別れ」(湯月香樹実『夏の庭』)

2-1 松川 瑞季 「デジタル社会に生きる私たちがすべきこと」
(アンデッシュ・ハンセン『スマホ脳』)

優良賞

1-5 谷口 旭 「『星の王子さま』を読んで」
(サン＝テグジュペリ『星の王子さま』)

1-1 本多 天音 「ジェンダーとは何かを考える」
(ジョン・ポイン作 原田勝訳『兄の名はジェシカ』)

2-4 本村 文人 「『檸檬』を読んで」(梶井基次郎『檸檬』)



2年生 進路講演会

2学年進路 植松 耕平

10月5日(火)、北九州予備校の大山純治先生をお招きし、2年生向けの進路講演会を開催しました。「キラリ輝く☆ダイヤモンドをめざそう!」という題目で、第1志望合格のために高校生活で意識すべきことや学習へ取り組む姿勢などについて話していただきました。1年間が勝負の浪人生を毎年指導している予備校の方ならではの説得力のある内容を聞いたことで、生徒たちはこれからの勉強に対する意識を高めたようでした。



3年生 激励会

3学年主任 松永 俊

10月7日(木)、本校体育館においてPTA会長様・進路対策委員長様をお迎えし、100日後に迫った「大学入学共通テスト」に向けた激励会を開いていただきました。温かい励ましと叱咤の言葉をいただき、生徒・教職員ともども一層気持ちを引き締めることができました。

また、1・2年生からは激励の言葉を記した色紙とともに励ましの言葉をいただき、各クラスの代表がしっかりと受け取りました。「現役生は最後まで伸びる」といいますが、それは決して安穏とした道ではないはずです。進路目標実現のために、常に現実の厳しさを身を感じながら一歩ずつ進んでいきたいと思います。



青楓祭（文化祭）

10月14日(木)島原文化会館、本校を会場に文化祭が開催されました。各クラス・文化部がそれぞれテーマに沿った展示や発表を行い大いに盛り上がりました。限られた準備期間で、全員で協力し合い成功させた文化祭では、生徒たちの日頃の授業とは異なる表情や充実した笑顔をたくさん見ることができました。

